

国指定重要無形民俗文化財 住吉大社 御田植神事 (2025年6月14日／住吉大社)

◆協賛：公益財団法人関西・大阪21世紀協会

古式ゆかしい華やかな神事

211年、神功皇后が住吉大社へ奉る神田を定め、長門国(現在の山口県)から植女を召して田植を奉仕させたことに始まると伝えられている住吉大社の御田植神事。明治初期に担い手の喪失や神田の払い下げにより廃絶の危機に瀕しましたが、大阪新町廓が御田を買い上げて住吉大社へ寄進したことで伝統は守られました。1979年には国が重要無形民俗文化財に指定。現在も、地域の人々の手によって厳かに執り行われ、古式ゆかしい所作や装束が受け継がれています。関西・大阪21世紀協会は、この神事の文化的価値を広く伝え、未来へとつなぐ活動に協賛しています。



御田植神事・童女の住吉踊り(写真提供：住吉大社)

日本万国博覧会記念公園シンポジウム2025 (2025年11月8日／国立民族学博物館)

◆主催：公益財団法人千里文化財団 ◆共催：大阪府、国立民族学博物館

◆協力：公益財団法人関西・大阪21世紀協会、国立大学法人大阪大学、公益財団法人大阪日本民芸館、大阪モノレール株式会社、万博記念公園マネジメント・パートナーズ

◆後援：NHK大阪放送局、公益社団法人関西経済連合会、吹田市

新たなレガシー — 2025年大阪・関西万博を後世へ

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする2025年大阪・関西万博の開催にあわせ、2021年から毎年シンポジウムを開催してきました。最終年となる今回は、万博を通じて生まれる人と人とのつながりや対話、共創のプロセス、そしてパビリオンの再活用に見られる資源循環型の取り組みなどに焦点を当てました。ディスカッションでは、万博の成果を一過性のものに終わらせることなく、今後の社会において活用可能な形でどのように継承していくかについて、1970年大阪万博のレガシーも参照しながら、有識者が意見を交わし、持続可能で開かれた社会の実現に向けた連携と、未来へ継承すべき新たなレガシーについて多角的に考察しました。



関西初!!

「スマホ」でかんたん
少額からできる

ぽちっ と募金

あなたの想いを

「ぽちっ」と届けよう

J-Coin

J-Coin Pay「ぽちっ」と募金」で募金の受付を開始!

〜少額から簡単にあなたの寄付でアーティストや芸術・文化活動の支援を〜

「ぽちっ」と募金」とは

J-Coin Pay(店頭での支払い、送金、入出金をスマホで行えるアプリ)を利用して、復興支援や国際協力、医療・福祉、文化・芸術、スポーツ振興などの支援を行う団体に対し、少額から募金できるサービスです。(J-Coin Payについては ▶ <https://j-coin.jp/>)

公益財団法人関西・大阪21世紀協会は、大阪・関西を中心に、文化の振興を通じて都市の活性化に寄与するため、様々な芸術・文化活動にできる限りの支援を行うとともに、様々なイベントの文化プログラムでの結節点機能の役割を果たすことを目的に活動しています。

現在、株式会社みずほ銀行が提供し、全国90以上の金融機関が参画するスマホ送金・決済アプリ「J-Coin Pay」内で実施している「ぽちっ」と募金」から公益財団法人関西・大阪21世紀協会に寄付することが可能となっています。

このような取り組みにご賛同いただける方は、この「J-Coin Pay」アプリを通じて、寄付をしていただくことができます。金額は500円からで、「ぽちっ」と募金」で寄せられたご寄付は、アーティストへの支援を拡充していくための費用として活用されます。何卒、ご支援賜りますようお願いいたします。

詳しくは関西・大阪21世紀協会ホームページへ

<https://www.osaka21.or.jp>

関西・大阪21世紀協会賛助会員
入会のお願い

関西・大阪の活性化のため、皆様のご支援をお願いします。

会費(何口からでも結構です)

■法人会員 1口につき年会費10万円
■個人会員 1口につき年会費 1万円

お問合せ (公財)関西・大阪21世紀協会

特典

1. 協会が発行する刊行物の配布
2. 協会が主催する各種セミナーなどへの案内
3. 賛助会員の参考となる情報・資料の提供など

総務部(TEL.06-7507-2001)